

緑の担い手を目指そう! にいがた山しごと情報誌

Niigata Forestry Magazine  
林業事業体レポート 02

# 有限会社 阿部林業 工務店

村上市



7ヘクタールの国有林の利用開伐現場。グラブ付きバックホウで伐った木を集積し、作業道を作る阿部竜一さんは阿部功さんの息子さん



① 阿部竜一さんと佐藤勝彦さん ② 夏のユニフォームはヘルメット(この日は雨除け帽も)、蜂網(フェイスガード兼)、蜂専用手袋、チャップス、鉄板の入った脚絆、地下足袋、安全長靴。全て会社から支給されている。「地下足袋は雨の日は2足持つていく。一流の職人はカッコいい。一流の防具を用います」と阿部社長 ③ 伐倒した木の枝払いをする佐藤さん



## 山を育てる昔ながらの循環型林業を促進

林業地・村上市で森林管理を得意とする阿部林業工務店。創業は昭和40年頃。代表取締役の阿部功さんによると利用間伐を始めた頃は重機を買うまでは牛で木を運んでいたというから驚きだ。「昔ながらの循環型林業に戻していくことが課題。皆伐なら1〜2年後に苗を植えて再造林できる」と近年、間伐が主体となっている林業界で皆伐も積極的にを行っている。こちらは高いレベルの安全対策の実施に誇りを持っている。例えば夏、蜂刺されを避けるため作業着を防蜂仕様にするか熱中症対策で薄着にするかの問題も、5月中頃に降に受注が決まると現場に入る前に蜂トラップを設置して防蜂ジャケットでパトロールを行い、安全を確保してから通常の作業着で山に入ること。令和元年8月から着用が義務化されたチェンソー防護衣も、10年前から全員に支給していた。さらに10年前から気温が30度以上になり作業効率が低下する夏場は朝5時から12時までのサマータイム制を導入。作業員が安心して仕事に集中できる環境を整えている。



④ 左から管理事務担当の戸貝純夫さん、作業員の阿部佑一さん、大矢辰次さん。右の二人と阿部竜一さんで「我が社期待の若手3人衆です」と戸貝さん。阿部佑一さんは15年、大矢さんは10年目のキャリアを持つ。「作業服や道具、チェーンソーも良いものがあるので助かります。安心して作業できます」 ⑤⑥ 伐倒を行う、大矢辰次さん

# 緑の担い手

～大自然の中で、  
プロ意識を持って働く人たち～

長く続けることが  
仕事の自信につながる



斎藤昭さん

年齢: 57歳  
林業経験: 22年



30代で林業を始めたときに「キツイ仕事だなあ」と思いました。でも、どんな仕事も楽しいことと苦しいことがあると思います。厳しい仕事も長く続けていくことで何かを習得することができます。それが自信につながります。日々、気をつけていることは事故を起こさないようにすること。慣れた作業でも決して注意を怠らないようにしています。

若者にもっと林業に興味をもってほしいです。山の仕事は一日で終わらないのが良いところ。仕事が終わわり、きれいな山を見たときの達成感は大きいです。林業は事故が多いのでケガすることなく現場が回るように気を付けています。ユニフォームの用意やサマータイム制など、若い人も働きやすい快適な職場を心掛けています。一緒に林業をやりましょう！



阿部竜一さん

年齢: 33歳  
林業経験: 12年

若い人たちに林業の魅力を知ってほしい

## 事業体 Data

有限会社  
阿部林業  
工務店



住所/村上市松沢143 電話/0254-66-6440  
設立/昭和40年 資本金/500万円  
従業員数/11人(森林作業員8人)  
勤務時間/8:00~17:00(夏期間5:00~12:00)  
主な勤務地/村上市周辺  
主な従事業務内容/森林整備、森林管理

## 事業主 コメント

有限会社  
阿部林業工務店  
代表取締役

### 阿部功さん

林業以外の職人も一流の職人は良い道具を使います。カッコいい職人になってほしいので安全対策には最良の道具を選んでいきます。昔は循環型産業だった林業が利用間伐メインになっています。林業は本来、木を植え、育て、材にする時間がかかる仕事です。今後は父の代からやっていたように木を伐った後に農業の人に苗を植えてもらう農業+林業で循環システムを目指したい。



① 関川村関谷にある、国有林の現場。自分の背丈より伸びている草を刈っていく斎藤昭さん ② 8月下旬のこの日も気温は33度を超えた。作業員さんを見習い、長袖のウィンドブレーカーを着用して取材に臨んだが汗がしたり落ちてきて、夏の現場作業の大変さを思い知る。写真右上のペットボトルは手作りの蜂トラップ ③ 4年目の小林研太さん。「自然に関わる仕事がやりたいと思っていたので林業は楽しいです」 ④ 作業中に大きな蜂を見つけて蜂トラップのチェックに向かう斎藤さん ⑤ 左から佐藤晴一さん、斎藤昭さん、小林研太さん、田沢孝一さん

